

春バスプラスワン 事業の拡充で、 移動手段の確保を



大野とし子
議員



6月1日より、県道西金野井春日部線以北の庄和地域において、600円のタクシー代を補助する「春バスプラスワン事業」の実証実験が始まりました。自宅と朝日バスのバス停（西親野井から農協センター前）までの間で往復利用できます。利用登録をして、タクシー利用時に補助代金を差し引いた額を払います。バスが通っていてもバス停が遠く、利用しにくい地域において、タクシー車両を活用した公共交通を取り入れたことは、移動手段の利便性向上につながると思います。今後この実証実験から何を検証し、どのように発展させていこうと考えているのでしょうか。

市長は、春バスの毎日運行を公約に掲げました。それはそれで検討していただきたいと思いますが、同時に対象者は限定したとしてもドアtoドアで利用しやすいタクシー代

補助制度を市内全域に広げてほしいと考えますが、市長の考えを伺います。

○都市整備部長

実証実験では、運行事業者における運用の課題や地域の意向などを総合的に検証し、今後の運行について検討していきます。

○市長

春バスプラスワン事業は、地域公共交通活性化協議会で検証し、地域の特性を踏まえた施策が重要と考えています。このほか

○庄和地域の拠点、庄和総合支所の充実を

介護者への支援について



大里 昇
議員



私は以前に母親の介護を経験した者で、ある日、母が足のけがが原因で寝込む生活となり、脳の機能の退化によって、認知症が進み、食べ物が飲み込めなくなり、胃ろうの処置をしてから寝たきりの生活となりました。私は介護に専念するため、介護離職も経験しました。

それで、これから市民の皆さまが、さまざまな状況により、介護に関わることとなったとき、心配や悩み、困り事があっても普段の生活が送れ、安心して暮らしていけるよう、福祉や介護サービスの拡充を切に望みますが、現在の本市の介護保険事業の現状と支給限度額の引き上げの市の考え、介護者への支援の取り組みについて伺います。

○健康保険部長

本市の高齢者人口の割合は、現在、ほぼ3人に1人が65歳以上となっています。今後前

期高齢者が減少し、75歳以上の後期高齢者が年々増加することが予測されており、これに伴い、介護を必要とする方が、さらに増加するものと考えています。

支給限度額は、在宅生活で必要な介護サービスの額として全国一律に定められたものとなっています。支援体制ですが、高齢者に関する総合相談窓口として市内8カ所に地域包括支援センターを設置し、家族からの相談にも適切な支援を行っています。

このほか

○公園の有効活用について

春日部における 街路灯について



平沢 一郎
議員



犯罪の防止や抑制の観点からみて、安全・安心なまちづくりには、まちの明るさは非常に重要かと思えます。LED工事も完了しましたが、地域によって街路灯の設置状況が異なっており、「春日部市はまだまだ暗い」という声も聞いています。地域によって

は、子どもや女性が暗くて一人歩きは危険だと思える場所、大人の男性でも怖くて通りたくない場所もあります。そこで以下伺います。①街路灯の設置基準②国道や県道に街路灯設置の要望が来た場合の対応③私有地に設置している場合の補助の有無④防犯対策

○市民生活部長

①小型の道路照明灯は市街地の道路などで交通上危険な場所に、原則として電柱1本置き約60メートル間隔で設置しています。大型の道路照明灯は、夜間の交通量が多く、交通上危険な道路に設置しています②国道や県道への街路灯は市で設置できないため、所管の事務所につないでいます③私有地補助はありませんが、商工振興課において、商店街の環境整備および活性化を図るために街路灯の設置費用や電気料を補助する制度があります④地域と連携し、各家庭の玄関灯を点灯させる「一戸一灯」運動の実施、また、自主防犯活動団体と連携した啓発活動、街頭防犯カメラの設置などの対策を行っています。

このほか

○学力向上に向けて春日部市の取り組みについて

「春タク」のご案内

自宅からバス停(朝日バス)までのタクシー運賃を補助します。

「春バスプラスワン実証実験」(愛称「春タク」)は、庄和北部地域における公共交通へのアクセスの利便性向上を目指す実証実験です。



駅周辺の道路整備及び バリアフリー化について



鈴木 一利
議員



春日部市内の駅周辺でのバリアフリー化は喫緊の課題です。市内には8つの駅があり、中には駅周辺での段差解消がされている箇所もありますが、春日部駅周辺など車椅子を利用している方またはベビーカーを利用されている方にとっては危険な段差が多いと感じています。

そこで、今後の市内各駅の周辺でのバリアフリー化の予定と特に春日部駅東口・西口のバリアフリー化への整備方法そして整備時期などの整備予定を伺います。

○建設部長

今後の予定ですが、春日部駅、八木崎駅周辺地区については、中心市街地バリアフリー計画が策定されており、移動等円滑化促進地区を定め、地区内の一定の基準に合致する施設を生活関連施設とし、それらの施設を結ぶ経路のうち生活関連経路として選定さ

れた経路についてバリアフリー化を進める計画です。そのほかの6駅周辺も、福祉部局などと連携し、障がいのある方などのご意見を伺いながら、対策の必要な箇所を選定し、積極的に取り組んでいきます。

春日部駅周辺の整備予定については、連立事業が完成するまでの当面の対策として、すぐできる歩車道境界における段差の解消や歩道の傾斜の緩和など、駅東口・西口ともに、順次実施していきます。

このほか
○今後の介護保険制度について

公共施設の男性用トイレに サニタリーボックスを



栗原 信司
議員



サニタリーボックスとはトイレの個室に設置された小さなごみ箱のことです。使用済みの生理用品を捨てるために一般的には女性用トイレや男女兼用トイレに設置されていますが、トランスジェンダーの方たちが男性用トイレを使用の際に使用済みの生理用品を

捨てるサニタリーボックスが男性用トイレになく、困っていたり、前立腺がんや膀胱がんが原因で尿漏れパッドが生活に欠かせない男性にとっても外出先で尿漏れパッドを捨てる場所がなくて困っているという声が、こちらにも届いています。春日部市としてもサニタリーボックスを設置すべきと思います。

○財務部長

市民の皆さまが利用する施設には前立腺がんなどの病気や加齢に伴って尿漏れパッドを必要とする人やトランスジェンダーの方々の利用も想定されることから、男性用トイレにもサニタリーボックスの設置が望ましいと認識しています。市民の利用頻度が高い本庁舎や公民館などのトイレに設置するとともに、その旨を明示するなど早急に対応します。今後も利用状況を見ながらトイレの環境改善に努めていきます。

このほか

○子宮頸がんワクチンを男性にも公費で
○統合型校務支援システムの導入について
○小中学校の校庭とトイレについて

市長と市議会議員の 関係性について



永田 飛鳳
議員

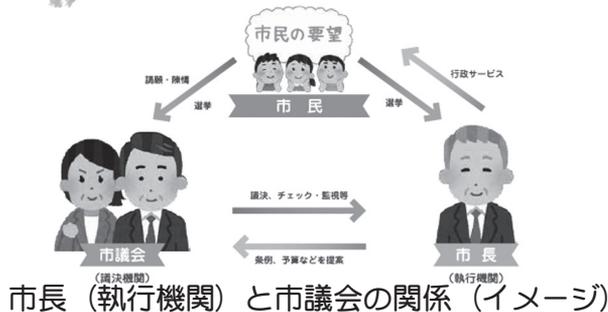


議会は二元代表制の一翼を担っており、執行機関の事務管理および執行を監視する機能を持っています。議決機関である市議会と執行機関である市長は、対等な立場に立ち、相互の均衡を図りながら、まちづくりを進めるものです。

本年4月の市議会議員選挙では岩谷市長自ら「私も応援します」と一緒に写真を撮った広報などで特定の候補者を積極的に応援されており、市民の方からも「どうして市長が応援する候補者と、しない候補者がいるの」との疑問が聞かれました。【議会は長（執行機関）と相互にけん制し合うことにより、地方自治の適切な運営を実現する】という二元代表制の原則とは異なったように私は感じるのですが、市長は特定の候補者を応援したことにに関して、どのようにお考えか。

○市長

市と市議会について



市をよくしたいという気持ちには、私も議員の皆さまも同じであると考えています。応援の依頼のあった候補者の皆さまには、できるだけ応援をしたもので、特定の候補者を応援したわけではありません。また、私に応援の依頼をしたということは、私の考え方に共感していただけたのではないかと拝察をしています。

二元代表制の趣旨に鑑み、市議会には市の実施する事業をしつかりとチェックをしていただき、共に市民のために市政を推進していきたいと考えています。

南桜井駅周辺踏切の 安全性について



会田 吉幸
議員

南桜井駅周辺の踏切は、買い物などに行く近隣住民はもとより、一部学生が通学路としても利用しており、踏切幅が狭いため、車と歩行者が錯綜して通行している場面が多く見受けられ、安全性について課題があると思います。确实な安全対策として、歩行者が安全に通行できる幅に踏切を拡幅することは可能なのでしょうか。

また、地域の安全面として、一部大型の緊急車両が通るにはかなり厳しい幅員の踏切もあり、万が一の事態となった場合の対応の遅れが懸念されます。

以上より、南桜井駅周辺踏切の現状と安全性の認識について伺います。

○建設部長

踏切の拡幅については、踏切の廃止、統合を基本として、踏切前後の道路拡幅を含めた計画が必要となります。駅直



南桜井駅周辺の踏切

近にある3つの踏切を統廃合して拡幅するという手法もありますが、現在はそれぞれが駅の北口と南口を結ぶ地域の皆さまの重要な踏切となっていますので、多くの課題があると考えています。

南桜井駅周辺踏切の現状については、幅員が狭く、歩行者と車両のすれ違いが困難な状況となっています。踏切内での乗用車のスムーズな交互通行が難しくなっており、安全性に課題があると認識しています。

このほか

○交通弱者への対応について

市役所内組織の活性化と 人材活用について



石川 友知
議員

岩谷市長になりました、新年度の新たな人事が発足したところかと思えます。そこで、以下伺います。①今回の人事異動では、どのような狙いがあった、また何をどう強化しようと考えて行われたのか②再任用職員が部長級として任用されることについて、いつ

制度が変わったのか、また他自治体で同様の事例はあるのか③看護専門学校は、いつ部長級の行政統括監直轄になったのか④再任用職員が同じ階級にとどまることは若い世代の昇進の可能性を奪うことになると思うが、市長に問う。

○総務部長

①各課の業務量や業務内容などを把握し、適切配分に努め、特に民生部門について業務量が増大しており、職員の負担軽減を図るため、体制を強化したところで、令和4年4月1日に施行したものです。再任用課長級として任用後に

再任用部長級として任用された例は確認されていませんが、再任用職員をそのまま部長級として任用している事例はあります③誤りです。新たに議員になられた皆さまに、訂正した資料を改めて配布します。

○市長

④組織を活性化するための一つとして、若手の積極的な登用は大変有効なものと考えています。今後も若手職員と経験をかなべテラン職員の活用をバランスよく進め、組織の活性化を図っていきます。

このほか

○農地の土地利用について

党派構成

(党派ごとの議席番号順)

(自民・無所属の会)

6番 会田 吉幸
7番 永田 飛鳳
8番 榛野 博
11番 石川 友和
12番 水沼 日出夫
13番 金子 進
21番 鬼丸 裕史
22番 山崎 進
23番 河井 美久

(立憲民主党)

24番 大里 昇

(日本維新の会)

14番 平沢 一博

(無所属)

1番 山口 剛一
2番 酒谷 和秀
3番 古沢 耕作

(次世代 かすかべ!)

15番 伊藤 一洋
16番 阿部 雅一
17番 奥沢 裕介
25番 吉田 稔
26番 栄 寛美
27番 小久保 博史

(公明党)

18番 中村 貴彰
19番 鈴木 一利
20番 藤原 智子
28番 木村 圭一
29番 荒木 洋美
30番 栗原 信司

(日本共産党)

4番 大野 とし子
5番 木下 三枝子
9番 今尾 安徳
10番 並木 敏恵

議会の傍聴について（お願い）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いしております。

本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でもご覧いただくことができますので、ぜひご利用ください。

議会中継は市議会ホームページからどうぞ



なお、議場で傍聴される場合は、次の点にご協力をお願いいたします。

- ・受付にて体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合は傍聴できません
- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用（傍聴受付に用意しています）
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

閉会中の委員会活動

▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
5月17日

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る要望等について

・令和4年6月定例会の対応内容について

▽議会運営委員会
5月20日

・令和4年6月定例会の運営について

▽図書室運営委員会
6月23日

・令和4年度購入図書の申し込みについて

▽広報広聴委員会
6月23日

・議会だより第68号について

7月5日

・議会だより第68号について

全国市議会議長会表彰

令和4年5月25日に開催された全国市議会議長会第98回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状ならびに記念品の伝達が行われました。

特別表彰【在職25年】

○小久保 博史 議員

編集後記

春日部市議会6月定例会は4月改選後初の議会になりました。改選により議会構成も新たな顔ぶれになり、広報広聴委員会も一新しました。今までも、多くの市民の方に市政情報を分かりやすく身近なものにするために取り組んでまいりましたが、改選により、本委員会構成委員は1期目の議員が担当することになりました。この委員構成を生かしながら、市民の皆さまに議会だよりを読んでいただくために、従来以上に皆さま方に寄り添った紙面作りを目指していきます。一人でも多くの方に分かりやすい市政情報をお伝えできるようにしていきます。また、お時間があれば議会へ足を運び傍聴していただき、皆さま方のご意見をお聞かせください。皆さまからいただきましたご意見を参考にさせていただきます。紙面作りを進めてまいります。

これから新本庁舎建設や駅高架化など春日部の未来を大きく変えていく事業がたくさん進められていきます。重責を担う議会と市民をつなぐ紙面作りを心掛けていきます。



広報広聴委員会

委員長	榛野 博
副委員長	木下三枝子
委員	会田 吉幸
委員	平沢 一博
委員	阿部 雅一
委員	奥沢 裕介
委員	中村 貴彰
委員	大里 昇
オブザーバー	
議長	鬼丸 裕史
副議長	木村 圭一

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111（代表）

内線3116